

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	膵頭十二指腸切除術の膵空腸吻合部における膵管lost stentの至適長に関して
研究責任者	肝胆膵外科 田村峻介
研究実施体制	当院 単施設 後方視研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2027 年 12 月 31 日
対象者	当院で 2010 年 1 月から 2024 年 6 月までに膵頭十二指腸切除術を施行した患者さん
研究の意義・目的	膵頭十二指腸切除術の膵空腸吻合部における膵管 lost stent は、基本的には腸管内を通過して便とともに排出されます。しかし、膵管 lost stent は膵管内遺残や肝内胆管への迷入、挙上空腸断端への遺残、挙上空腸壁穿通等の合併症を認めることがあります。 膵管 lost stent の適切な長さに関する報告はありません。今回、当院で施行した膵頭十二指腸切除術で挿入した膵管 lost stent における合併症、stent の遺残日数、挿入長等に関して後ろ向きに解析します。
研究の方法	膵管 tube の長さ、留置期間、合併症、血液検査等をカルテを用いて後方視的に抽出して、膵管 lost stent による合併症のリスク因子を単変量・多変量解析を用いて抽出します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 肝胆膵外科 (氏名)田村峻介 TEL:053-474-2222(代表) 肝胆膵外科外来 9:00～17:00 平日